平 成 31 年 度

千葉大学教育学部　学校教員養成課程
推薦入試　学生募集要項

・中学校コース
・小中専門教科コース（Ｂ選択）
・英語教育コース（Ｂ選択）
・特別支援教育コース
・乳幼児教育コース
・養護教諭コース

平成30年８月

この要項には，千葉大学教育学部の推薦入試に関する出願から入学手続までの諸手続を詳しく記載してあります。内容を取り違えることがないよう，よく読んでください。また，この要項には次の①～⑦の書類等が同封されています。

① 志願票・写真票・受験票
② 志望理由書・活動履歴書
③ 推薦書及び推薦書記入上の注意
④ 送り状
⑤ 受験票送付用封筒
⑥ 宛名シール（高等学校長等宛及び志願者本人宛）
⑦ 入学検定料振込依頼書

〔出願書類の提出・問い合わせ先〕

出願書類の提出，問い合わせ等は，次の担当で受け付けています。電話での問い合わせは，月曜日から金曜日（祝日を除く。）の９時から17時までの間とし，原則として志願者本人が行ってください。

千葉大学教育学部学務室入試係　〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１-33　電話　043-290-2515

目　　次

千葉大学教育学部の入学者受入れの方針と推薦入試の趣旨 …… 2
千葉大学教育学部各コースの入学までに身に付けてほしいこと …… 2
１．募集人員 …… 3
２．出願資格・出願要件
(1) 出願資格 …… 3
(2) 出願要件 …… 3
３．出願手続等
(1) 出願受付期間 …… 4
(2) 出願方法及び出願書類の提出先 …… 4
(3) 出願書類 …… 4
(4) 出願の際の留意事項等 …… 6
(5) 受験票の送付 …… 6
４．選抜方法等
(1) 選抜方法等 …… 7
(2) 大学入試センター試験の指定教科・科目等 …… 8
５．合格者発表等
(1) 合格内定者及び最終合格者発表 …… 9
(2) 合格内定通知書の送付 …… 9
(3) 最終合格通知書等の送付 …… 10
(4) 追加合格 …… 10
(5) 入学辞退等 …… 10
６．入学手続等
(1) 入学手続日時 …… 10
(2) 入学手続の際に納入する経費 …… 10
７．身体等に障害のある入学志願者の事前相談
(1) 申請方法 …… 11
(2) 事前相談の締切日 …… 11
(3) 書類提出先・問い合わせ先 …… 11
８．教育学部における学部改組について …… 12
試験場への主な交通経路（略図） …… 16
西千葉キャンパス案内図

千葉大学教育学部の入学者受入れの方針と推薦入試の趣旨

教育学部の求める入学者

教育学部は多様な教育に関連した領域を学ぶ環境の中で，教育に関わる実践力を育成することを目指し，次のような入学者を求めています。

1．学校，家庭及び地域をめぐる教育上の諸問題に広範な関心を持ち，他者と積極的に交流することができ，学ぶことや活動することを喜び，そして新しい可能性を自己ならびに他者に示す努力をいとわない人

2．将来教師となって他者を教え，育てる中で自分も学ぶ姿勢を持ち続けることのできる人

推薦入試の趣旨

教育学部では，高等学校等から推薦された皆さんに，志望理由やこれまでに行ってきたさまざまな活動実績を聞くことなどを通して，以下の各コースの求める入学者にふさわしい人を選抜するために推薦入試を実施しています。

千葉大学教育学部各コースの入学までに身に付けてほしいこと

中学校コース

これから学ぼうとする教育分野に関連する教科・科目のみならず，大学が指定する大学入試センター試験の科目を勉強すること。また，様々な活動を経験し，コミュニケーション能力を身に付けることも大切です。自分が今までに学んだり経験したりしてきたことを，教師になって活用できるよう，広くものごとに目を向け，その本質や価値を把握しようとする資質（学ぶ意欲や姿勢）を養ってください。

小中専門教科コース

小学校から中学校までの長期的な視点に立って児童生徒の学びを支えられるよう，専門としたい教科に深い関心を持って活動（実践）経験を積み，実技力や専門的知識の習得を心がけてください。

その過程で，ものごとを様々な角度から捉え，新しい見方を発見しようとする習慣を身に付け，また，それを相手に伝えるためのコミュニケーション能力獲得も意識するようにしましょう。そして，広く一般社会にも目を向けると共に，自分の専門以外の科目もしっかり学習し，大学での学びに必要な幅広い基礎学力を身に付けてください。

英語教育コース

基本的な社会的知識と教養を身に付けることが重要です。それを踏まえ，ものごとに対して国際的視野から幅広く関心を持って学ぶ姿勢，積極的に挑戦する態度を持ってください。さらに，相手が英語を使って発信する内容を正しく理解する能力，自分の伝えたいことを英語で表現できる能力を身に付けてください。

特別支援教育コース

特別支援教育に関わる教員には，相手の置かれた状況や行動の意図を深く理解し，受容する姿勢が問われます。読書やボランティア活動などを通して，様々な出来事に対して，柔軟なものの見方やとらえ方ができるよう，その資質を養ってください。

乳幼児教育コース

将来幼稚園教員として専門的な役割を果たす上で，基本的な社会的知識や教養を身に付けていることが必要です。幅広くものごとに関心を持ち，積極的に学ぶ姿勢が重要です。そのためにも，幅広い領域に関して読書する習慣を身に付けてください。

また自分の考えや思いを丁寧に，きちんと表現し，他者に伝えること，同時に他者の表現をしっかりと受け止め理解することが大切です。

養護教諭コース

基礎学力としての十分な知識（特に「生物」の知識は入学後の修学に必要です。）とともに，人との関わりが多くを占める養護教諭の職務に備え，様々な活動や体験を通して豊かな感性と柔軟なものの見方，コミュニケーション能力を身に付けることが大切です。

１．募集人員

中学校コース	国語科教育分野	２　名
	社会科教育分野	２　名
	数学科教育分野	２　名
	理科教育分野	２　名
	技術科教育分野	２　名
小中専門教科コース	音楽科教育分野（Ｂ選択）	２　名
	図画工作・美術科教育分野（Ｂ選択）	２　名
	保健体育科教育分野（Ｂ選択）	２　名
	家庭科教育分野（Ｂ選択）	２　名
英語教育コース（Ｂ選択）		３　名
特別支援教育コース		７　名
乳幼児教育コース		５　名
養護教諭コース		５　名

１．教育学部には，小学校コース，中学校コース，小中専門教科コース，英語教育コース，特別支援教育コース，乳幼児教育コース及び養護教諭コースがあります。このうち推薦入試を行うのは，上記のコース・分野です。
２．小中専門教科コース，英語教育コースで合格した者は，入学後は**「Ｂ選択」**（小学校教諭２種免許状と所属する分野の教科の中学校教諭１種免許状の取得が卒業要件）で履修をすることになります。（詳細はP. 14を参照してください。）
３．推薦入試による合格者が募集人員に満たなかった場合は，一般入試（前期日程）の合格者で補充します。

２．出願資格・出願要件

(1) 出願資格

●中学校コース（国語科教育分野，社会科教育分野，数学科教育分野，理科教育分野）
●小中専門教科コース（音楽科教育分野，図画工作・美術科教育分野，保健体育科教育分野，家庭科教育分野）
●英語教育コース
●特別支援教育コース
●乳幼児教育コース
●養護教諭コース

次のいずれかに該当する者で，出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の長を含む。）が責任を持って推薦し，平成31年１月実施の平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で指定された教科・科目を受験するもの

① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成31年３月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）
② 通常の課程による12年の学校教育を平成31年３月修了見込みの者
③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年３月までに修了見込みの者

●中学校コース（技術科教育分野）

次のいずれかに該当する者で，出身高等学校長又は高等専門学校長が責任を持って推薦するもの

① 高等学校の工業，農業に関する学科又は総合学科（工業，農業に関する教科・科目を15単位以上修得した者又は修得見込みの者）を平成31年３月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）
② 高等専門学校第３学年を平成31年３月修了見込みの者

(2) 出願要件

●学校教員養成課程

人物が優秀で，教員になりたいという強い意欲を持ち，合格した場合に入学を確約できる人。

３．出願手続等

(1) 出願受付期間　　平成30年11月1日（木）から11月5日（月）まで（必着）

(2) 出願方法及び出願書類の提出先

学校長等を通して提出してください。学校長等は，(3) の出願書類等を取りまとめ，封筒に「推薦入試出願書類在中」と朱書し，**簡易書留速達郵便**で下記の送り先に，(1) の出願受付期間内に到着するように郵送してください。

（(1) の出願受付期間内に到着しない場合は，受理しません。）

送り先　〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１－33　千葉大学教育学部学務室入試係

入学志願者は，出願前にこの募集要項に添付してある所定の振込依頼書に記入のうえ，検定料17,000円を最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。（振込方法は電信扱いとし，振込手数料は本人負担となります。なお，ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また，ATM（現金自動預払機）は使用できません。）振込後に銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用（大学提出用）」を，志願票に貼り付けて出願してください。なお，取扱金融機関出納印がないものは無効となりますので，金融機関で受領した際に必ず確認してください。

(3) 出願書類

出願にあたっては，①～⑦までの書類等を提出してください。なお，出願書類の作成に不明な点があるときは，教育学部学務室入試係に問い合わせてください。

（注）１　出願書類に不備があると受理できませんので，間違いのないよう十分注意してください。
２　受理した出願書類は，いかなる理由があっても返還しません。
３　志願票等に虚偽の記載をした者は，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
４　「受験票送付用封筒」，「宛名シール」に氏名を記入する際に，印刷されている「殿」の文字を「行」等に訂正しないでください。
５　出願後，引越し等の理由により，志願票に記入した「受信場所」に変更があった場合は，直ちに教育学部学務室入試係へご連絡ください。

<table>
<tr><td>①</td><td>志願票等
・志願票
・写真票
・受験票</td><td>この募集要項に添付してある所定の用紙を使用してください。記入にあたっては，下記（注）及び志願票等に記載されている記入上の注意をよく読んで，黒のボールペンで自筆，楷書でていねいに記入してください。誤って記入した場合は，二重線で消し，余白に記入してください。なお，「※」の欄は記入しないでください。
（注）１「志願票」には，検定料振込証明書「貼付用（大学提出用）」（金融機関出納印が押印済のもの）を貼り付けてください。
２「写真票」及び「受験票」には，出願前３ヶ月以内に撮影した上半身，正面，脱帽の縦４㎝×横３㎝の同じ写真を貼り付けてください。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>志望理由書等
・志望理由書
・活動履歴書</td><td>この募集要項に添付してある所定の用紙を使用してください。記入にあたっては，黒のボールペンで自筆，楷書でていねいに記入してください。なお，「※」の欄は記入しないでください。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>調査書等</td><td>高等学校長等が作成し，厳封したものとします。
<table>
<tr><th>出　願　資　格</th><th>提　出　書　類</th></tr>
<tr><td>１．高等学校卒業（見込）者</td><td>調査書</td></tr>
<tr><td>２．高等専門学校第３学年修了（見込）者及び特別支援学校高等部卒業（見込）者
３．文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程の修了（見込）者</td><td>文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

④	推薦書及び送り状	この募集要項に添付してある所定の用紙を使用し，高等学校長等が作成してください。推薦書の記入にあたっては，「推薦書記入上の注意」をよく読んでください。
⑤	検定料振込証明書「貼付用（大学提出用)」（金融機関出納印が押印済のもの)	出願する前に，この募集要項に添付してある所定の振込依頼書により，検定料 17,000 円を最寄りの銀行等（ゆうちょ銀行を除く）の窓口で振り込み，銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用（大学提出用)」を志願票に貼り付けてください。 （注１） 振込方法は電信扱いとし，振込手数料は本人負担となります。なお，ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また，ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用できません。 （注２） いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし，検定料を誤って振り込み，出願しなかった者が平成 31 年３月 29 日（金）17 時までに所定の返還手続を行った場合は，検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については，教育学部学務室入試係に確認してください。
⑥	受験票送付用封筒	この募集要項に添付してある所定の封筒に，志願者本人の郵便番号，受信場所（志願票の受信場所と同じ住所）及び氏名を記入し，682 円分の郵便切手（簡易書留速達料金を含む。）を貼ってください。
⑦	宛名シール（高等学校長等宛及び志願者本人宛）	この募集要項に添付してある所定の宛名シールに，高等学校長等宛には高等学校等の所在地，志願者本人宛には志願者本人の郵便番号，受信場所（志願票の受信場所と同じ住所）及び氏名を記入してください。

（注）平成31年度千葉大学教育学部推薦入試「活動履歴書」について

活動履歴書の記載にあたっては，志願するコース・分野により，下記のことについてできるだけ具体的に書いてください。また，千葉大学教育学部が関わる高大連携授業，サイエンススタジオCHIBAに加えて，千葉大学が主催する高大連携による「次世代才能スキップアップ」プログラム，高等学校が開設している教員基礎コースへの参加等について記載することも可能です。

○中学校コース　国語科教育分野

国語科の内容と関係する中学校及び高等学校等における活動，例えば，国語科での研究レポートの作成，小説・詩・俳句・短歌等の創作，文集や雑誌・新聞等の編集・制作，書道や演劇等の創作・表現，あるいは図書委員会，新聞委員会，放送委員会等の各種委員会や，書道部，演劇部，放送部，文芸部等の課外活動の履歴について記載してください。また，読み聞かせや手話・点字等のボランティア活動，NIEの活動，詩吟・朗詠や読書，演劇等のサークル活動，文芸創作コンクール，作文コンクール，スクラップコンクール等への応募や弁論大会，ディベート大会への参加など，地域的・社会的な活動の履歴を記載してください。その他，国語科に関係する活動履歴を記載してください。

○中学校コース　社会科教育分野

小学校，中学校，高等学校等における社会科に関する研究レポート，生徒会活動，文化的活動，社会奉仕等の社会的活動など，その内容やそこから学んだことについて記載してください。

○中学校コース　数学科教育分野

中学校，高等学校等における数学に関わる学校内外での活動を記載してください。例えば，数理科学関連のコンクールや公開講座，数学検定への参加，学校における数理科学サークルでの活動などについて記載してください。

○中学校コース　理科教育分野

作成した科学論文・報告書，科学工作物，学校や地域での自然体験活動やボランティア活動，夏休みの理科に関する自由研究，クラブ活動での理科に関する研究，授業の中の理科に関する課題研究などについて記載してください。

○中学校コース　技術科教育分野

中学校，高等学校等における教科に関わる学習以外に行った活動などについて記載してください。

○小中専門教科コース　音楽科教育分野

学校内外における音楽に関わる活動（部活動，文化祭，個人的な音楽経験，コンクールなど）について記載してください。音楽にかかわるボランティア活動（指導，指導補助），学校における生徒会活動，学校外における社会活動などがある場合はそれらについても記載してください。

○小中専門教科コース　図画工作・美術科教育分野

活動履歴書に記載する範囲は，高等学校等在学中とします。

また，授業，部活動，課外活動などで意欲的に取り組んだ造形的活動については，絵画・彫刻・デザインなどの活

動だけでなく，他の表現方法によるものでも構いません。文化祭での制作活動や，展覧会への出品歴・受賞歴についても同様です。

〇小中専門教科コース　保健体育科教育分野

学校内外における運動に関わる活動（部活動，スポーツクラブ，個人的な運動経験など）について記載してください。運動に関わるボランティア活動（指導，指導補助など），学校における生徒会活動，学校外における社会的活動などがある場合は，それらについても記載してください。

〇小中専門教科コース　家庭科教育分野

授業，部活動，課外活動などで意欲的に取り組んだ家庭科に関わる活動について，その内容とそこから学んだことを記載してください。例えば，生活技術の向上に関わること，生活環境改善に関わること，子育て支援，高齢者支援，障害者支援などの福祉に関わること，さらに，消費者問題に関わることなどについて，取り組んだ活動や調査した研究内容，作成した作品などについて記載してください。学校家庭クラブの活動や全国学校家庭科技術検定の成果なども，活動の内容に含まれます。

〇英語教育コース

英語に関わる活動について記載してください。例えば，海外留学，スピーチコンテスト，ディベートコンテスト，国際交流，英検・TOEFL・TOEICなどの実績について記載してください。学校における英語活動（クラブ活動や文化祭における英語劇など），海外生活の経験，通訳ボランティアなどの高い英語運用能力が必要とされる活動，また英語運用能力を高めるために自分で行ってきた活動などについて記載してもかまいません。

〇特別支援教育コース

高等学校等在学中における活動について記載してください。例えば，障害のある人（子ども）と関わった経験，障害のある人（子ども）の学校や施設等の見学体験，あるいはそのような場所でのボランティア経験，その経験・体験から学んだことなどについて記載してください。

〇乳幼児教育コース

子どもとの交流を中心とする課外活動，ボランティア活動，社会活動などについて，その内容やそこから学んだことをできるだけ具体的に記載してください。

〇養護教諭コース

これまでの健康に関わる体験や活動（例えば，生徒会活動や文化祭での活動，地域での健康に関する取り組みなど）について記載してください。

(4) 出願の際の留意事項等

ア　国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することができるのは，一つの大学・学部に限ります。

イ　本推薦入試に出願した場合でも，一般入試志願者として「前期日程試験」及び「後期日程試験」に出願することができます。ただし，本推薦入試で入学手続をした場合，一般入試の合格者となることはできません。

ウ　千葉大学教育学部AO入試合格内定者は，本推薦入試への出願は出来ません。

エ　本推薦入試の合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る。）は，大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供され，国公立大学の一般入試の合格者の決定を行うための情報として利用されます。

オ　入学者選抜の過程で収集した個人情報は，入学者選抜の実施のほか，管理運営業務，修学指導業務，入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。

(5) 受験票の送付

出願書類を受理した後，受験番号を記載した受験票を，受験票送付用封筒で送付します。なお，平成30年11月12日（月）までに届かない場合は，教育学部学務室入試係に問い合わせてください。

４．選抜方法等

(1) 選抜方法等

●中学校コース（国語科教育分野，社会科教育分野，数学科教育分野，理科教育分野）
●小中専門教科コース（音楽科教育分野，図画工作・美術科教育分野，保健体育科教育分野，家庭科教育分野）
●英語教育コース
●特別支援教育コース
●乳幼児教育コース
●養護教諭コース

選　考 平成30年11月17日（土）	**中学校コース** 国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 **小中専門教科コース** 保健体育科教育分野 家庭科教育分野 **英語教育コース** **特別支援教育コース** **乳幼児教育コース**	**面接**（注１）（注２）12：00～ （面接資料作成（9：30～10：30）を含む。）	面接の結果及び提出書類を総合的に評価します。 なお，面接資料は点数化して評価することはありません。
	小中専門教科コース 音楽科教育分野 図画工作・美術科教育分野 **養護教諭コース**	**適性検査**（注３） 9：30～11：30 **面接**（注１）（注２）12：30～	適性検査，面接の結果及び提出書類を総合的に評価します。
大学入試センター試験 平成31年１月19日（土） ～20日（日）	資格試験として３教科３科目を課します。		大学が指定した教科・科目のうち，高得点の３教科３科目の総合点が60％に達していれば，得点の優劣は合否に影響しません。

●中学校コース（技術科教育分野）

選　考 平成30年11月17日（土）	**中学校コース** 技術科教育分野	**適性検査**（注３） 9：30～11：30 **面接**（注１） 12：30～	適性検査，面接の結果及び提出書類を総合的に評価します。 なお，中学校コース技術科教育分野では，大学入試センター試験を課しません。

（注１） 個人面接または集団面接をおこないます。

（注２） **平成31年度千葉大学教育学部推薦入試「活動履歴を証明する書類」について**
面接にあたって，下記のコース・分野では，活動履歴書に記載した活動を証明できる，以下に例示する書類など（コピー可）を持参してください。

〇中学校コース　数学科教育分野

数理科学関連のコンクールや公開講座への参加，学校での数理科学サークル活動，数学検定等に参加した経験のある人は，それぞれについて，活動内容と結果が証明できる資料，コンクールで受賞等がある場合は賞状の写し，数学検定試験の場合は合格証明，学内数理科学サークル活動では学園祭や文化祭での発表記録など。資料がない場合には，中学校，高等学校等における数学に関わる活動が分かる資料を作成してもよい。

〇中学校コース　理科教育分野

国，都道府県，各種団体・機関等へ提出した科学論文・報告書・科学工作物（ただし，科学工作物については写真など），学校や地域での自然体験活動やボランティア活動の参加記録，あるいはその活動内容を示した書類，学校での理科分野の実験や観察レポート，夏休みの理科に関する自由研究論文，クラブ活動での理科に関する研究論文やその活動記録など。

〇小中専門教科コース　音楽科教育分野

演奏会，発表会のプログラムや賞状，音楽に興味を持って研究したレポートなど。

〇小中専門教科コース　図画工作・美術科教育分野

作品制作や，その他造形美術に関する活動の履歴が分かる写真や資料のファイルを持参すること。

〇小中専門教科コース　保健体育科教育分野

試合，大会への参加がある場合は，そのプログラムや賞状など。

〇英語教育コース

海外留学，英検・TOEFL・TOEICなどでは，成績表あるいは合格証書など。

スピーチコンテスト，国際交流などでは，本人の参加の分かるパンフレットなど。

〇乳幼児教育コース

子どもとの交流を中心とする課外活動，ボランティア活動，社会活動などの受入先による証明書（形式は自由だが，活動内容および活動期間は必ず記入されていること。）

これらは活動履歴書の内容を把握するために持参してもらうもので，点数化して評価するためではありません。したがって，持参を要求しているコース（分野）の場合でも，持参できるものが何もない場合には，持参しなくてもかまいません。活動履歴を証明する書類は，面接終了後に返却します。

（注３）　適性検査は下記の内容によって実施します。

〇小中専門教科コース（音楽科教育分野）

・ハノン第39番より，当日指定する長調と短調の音階を暗譜で演奏する。併せて，Haydn，Mozart，Beethovenのピアノ・ソナタの中から任意の一曲を選び，その第１楽章または終楽章を暗譜で演奏する（繰り返しなし）。なお，音階の弾き方については，繰り返しは省略。長調の音階は終止形の和音をつけて終わる。短調の音階は和声的短音階と旋律的短音階を１度ずつ続けて演奏し，終止形の和音をつけて終わる。

・下記の歌曲の中から任意の一曲を選び，指定の調で演奏する（暗譜）。伴奏者は音楽科で用意する。

１．G.B.Bassani ： Dormi，bella　変ロ長調，変イ長調

２．F.P.Tosti ： Non t'amo più!　ホ短調，ニ短調

３．V.Bellini ： Per pietà，bell'idol mio　ハ短調，変ロ短調

〇小中専門教科コース（図画工作・美術科教育分野）

鉛筆を使った簡単な平面表現を通して，総合的な造形能力をみる。

〇中学校コース（技術科教育分野）

技術的な内容を含む課題についての簡単な設計あるいは製作を通して創造力・思考力をみる。

〇養護教諭コース

集団討論を行う。

(2) 大学入試センター試験の指定教科・科目等

中学校コース技術科教育分野以外の他のコース・分野の合格内定者（後述）には，大学入試センター試験において，３教科３科目を資格試験として課します。合格内定者のうち，受験した科目の中から高得点順に３教科３科目を採用し，その総合点が60％に達している者を最終合格者とします。ただし，３教科３科目の中に０点の科目があった場合及び２科目以下しか受験しなかった場合は，不合格となります。

平成 31 年度大学入試センター試験の指定教科・科目（３教科３科目）

国語
地理歴史(世界史Ｂ/日本史Ｂ/地理Ｂ)
公民(現代社会/「倫理，政治・経済」) } から１
数学(数学Ⅰ/数学Ⅰ・数学A/数学Ⅱ/数学Ⅱ・数学B/簿記・会計/情報関係基礎)から１
理科(物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎)から２，又は（物理/化学/生物/地学)から１
外国語(英語/ドイツ語/フランス語/中国語/韓国語)から１

} から ３教科 ３科目

（注）１　大学入試センター試験の受験教科・科目を３教科３科目に制限するものではありません。選択可能な複数（指定数以上）の教科・科目を受験した場合は，高得点順に３教科・３科目を採用します。ただし，地歴と公民はこの２教科から１科目を採用します。

２　国語及び外国語は100点満点に換算します。また，外国語の英語を選択する受験者は，筆記試験とリスニングの双方を受験してください。

３　「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校等の普通科・理数科以外の卒業見込者に限ります。

４　理科の基礎を付した科目は，２科目で１科目として扱います。

５．合格者発表等

(1) 合格内定者及び最終合格者発表

中学校コース技術科教育分野においては選考の合格者を「最終合格者」とします。他のコース・分野においては，選考の合格者を「合格内定者」とし，合格内定者のうち大学入試センター試験で受験した科目の中から高得点順に３教科３科目を採用し，その総合点が60%に達している者を「最終合格者」とします。合格内定者及び最終合格者は，下記の日時に教育学部校舎の掲示板及び千葉大学教育学部ホームページ（URL:https://www.education.chiba-u.jp/）に受験番号を掲示します。

コース（分野）	合格内定者発表	最終合格者発表
中学校コース 国語科教育分野 社会科教育分野 数学科教育分野 理科教育分野 **小中専門教科コース** 音楽科教育分野 図画工作・美術科教育分野 保健体育科教育分野 家庭科教育分野 **英語教育コース** **特別支援教育コース** **乳幼児教育コース** **養護教諭コース**	**教育学部校舎の掲示板** **平成30年11月30日（金）14時** **～12月 4日（火）14時** **千葉大学教育学部ホームページ** **平成30年11月30日（金）15時予定** **～12月 4日（火）15時**	**教育学部校舎の掲示板** **平成31年 2月13日（水）14時** **～ 2月18日（月）14時** **千葉大学教育学部ホームページ** **平成31年 2月13日（水）15時予定** **～ 2月18日（月）15時**
中学校コース 技術科教育分野		**教育学部校舎の掲示板** **平成30年11月30日（金）14時** **～12月 4日（火）14時** **千葉大学ホームページ** **平成30年11月30日（金）15時予定** **～12月 4日（火）15時**

(2) 合格内定通知書の送付

中学校コース技術科教育分野以外のコース・分野の合格内定者には，合格内定者発表後に「第１次選考合格通知書」を，「宛名シール（学校長等及び志願者本人宛）」に記載した受信場所あてに簡易書留等で郵送します。合格内定者であるにも

かかわらず上記通知書が届かない場合は，教育学部学務室入試係に問い合わせてください。

なお，合格内定者には「平成31センター試験成績請求票」（推薦　国公立推薦入試用）を送付してもらいますので，それまで大切に保管しておいてください。

(3) 最終合格通知書等の送付

最終合格者には，最終合格者発表後に「合格通知書」を，「宛名シール（学校長等及び志願者本人宛）」に記載した受信場所あてに簡易書留等で郵送します。最終合格者であるにもかかわらず上記書類が届かない場合は，教育学部学務室入試係に問い合わせてください。

入学手続に必要な関係書類は，中学校コース技術科教育分野の最終合格者については１月下旬以降に，それ以外のコース・分野の最終合格者については「合格通知書」とともに，「宛名シール（志願者本人宛）」に記載した受信場所あてに送付します（直接交付はしません。）ので，確実に受け取れるようにしてください。

(4) 追加合格

追加合格は行いません。

(5) 入学辞退等

合格者は，平成31年２月又は３月に実施する国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の個別学力検査等を受験しても，その大学・学部の合格者とはなりません。ただし，特別の事情があり，推薦を行った学校長から本学部に「推薦入試入学辞退願」を提出し，その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

６．入学手続等

(1) 入学手続日時

最終合格者は，次の日時に本学部に直接出向いて入学手続を行ってください。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので，十分注意してください。

平成31年 2月19日（火） 9時から11時30分まで　13時から16時まで

（注）１　入学手続には，「千葉大学受験票（推薦入試）」又は「合格通知書」及び平成31年度の「大学入試センター試験受験票（センター試験受験者のみ）」の提示が必要ですので，大切に保管してください。

２　所定の入学手続を完了した者は，他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。特に，一般入試の「前期日程試験」及び「後期日程試験」を受験しても，その合格者とはなりませんので注意してください。

(2) 入学手続の際に納入する経費

入学手続の際には，次の経費が必要です。

入 学 料	学生保健互助会費	学生教育研究災害傷害保険料 (学研災付帯賠償責任保険含む)	合　計
282,000 円	４年分 8,000 円	４年分 4,660 円	294,660 円

（注）１　入学料の納入については，入学手続時に納入願います。

２　授業料の納入については，入学後の前期分授業料は５月に，後期分授業料は 10 月に口座引落しにより納入願います。口座引落手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。

なお，前期分・後期分授業料はそれぞれ 267,900 円（年額 535,800 円）です。

また，入学して２年目から，前期分授業料は４月が口座引落しの月となります。

３　入学料及び授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

４　入学料及び授業料が免除される制度があります。

申請すると，選考のうえ，入学料（全額又は半額）及び授業料（全額又は半額）が免除される場合があります。

（ただし，免除範囲に限度がありますので，入学料・授業料ともに必ず免除になるとは限りません。）

ａ．入学料免除基準

入学前１年以内に，学資負担者が死亡，又は風水害等の災害を受けた場合，又はこれに準ずる場合

ｂ．授業料免除基準

① 入学前１年以内に，学資負担者が死亡，又は風水害等の災害を受けた場合，又はこれに準ずる場合

② 経済的理由により授業料の納入が困難である場合

準ずる場合の例としては，入学前１年以内に，学資負担者が行方不明，学費負担能力の欠如（生活保護受給家庭）等があります。

詳細は，千葉大学ホームページ

http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先

学務部学生支援課：電話 043-290-2178

5 学生保健互助会費（疾病負傷の際に相互に救済し，進んで健康保持に寄与することを目的としております。）及び学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中，学校行事中，課外活動中，通学中における傷害事故に対して補償するものです。また，他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には，改定時から新保険料が適用されます。）は，3 月 29 日（金）までに郵便局又はゆうちょ銀行で払い込んでください。

詳細は，学務部学生支援課へ問い合わせてください。

電話 043-290-2220（学生保健互助会）

電話 043-290-2162（学生教育研究災害傷害保険）

6 納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

7 入学手続完了者が，3 月 31 日（日）17 時までに入学を辞退した場合には，申し出により既に納入済の学生保健互助会費及び学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

７．身体等に障害のある入学志願者の事前相談

本推薦入試に出願を希望する者で，身体等に障害があり，受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は，出願に先立ち，あらかじめ本学部以下（3）の連絡先に事前相談の申請を行ってください。

なお，出願後の不慮の事故等による負傷で，受験上又は修学上特別な配慮が必要になった者についても，速やかに事前相談を行ってください。

(1) 申請方法

申請する場合は，次のア及びイを（3）あてに提出してください。提出された書類に基づき，本学関係者で検討を行います。ただし，検討の過程において，必要がある場合は直接本人，保護者又は出身学校関係者に照会することがあります。

ア 事前相談申請書（本学所定の用紙）

申請用紙の入手方法は，教育学部学務室入試係の窓口で直接受け取るか，郵送により入手してください。郵送により入手する場合は，「事前相談申請用紙請求」と朱書した封筒に，82円分の郵便切手を貼った返信用封筒（長形３号：約12×23.5㎝，表面に郵便番号，住所，氏名を明記してください。）を同封し，（3）あてに送付してください。

イ 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

(2) 事前相談の締切日　　平成30年10月1日（月）

相談の内容によっては，対応に時間を要することもありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

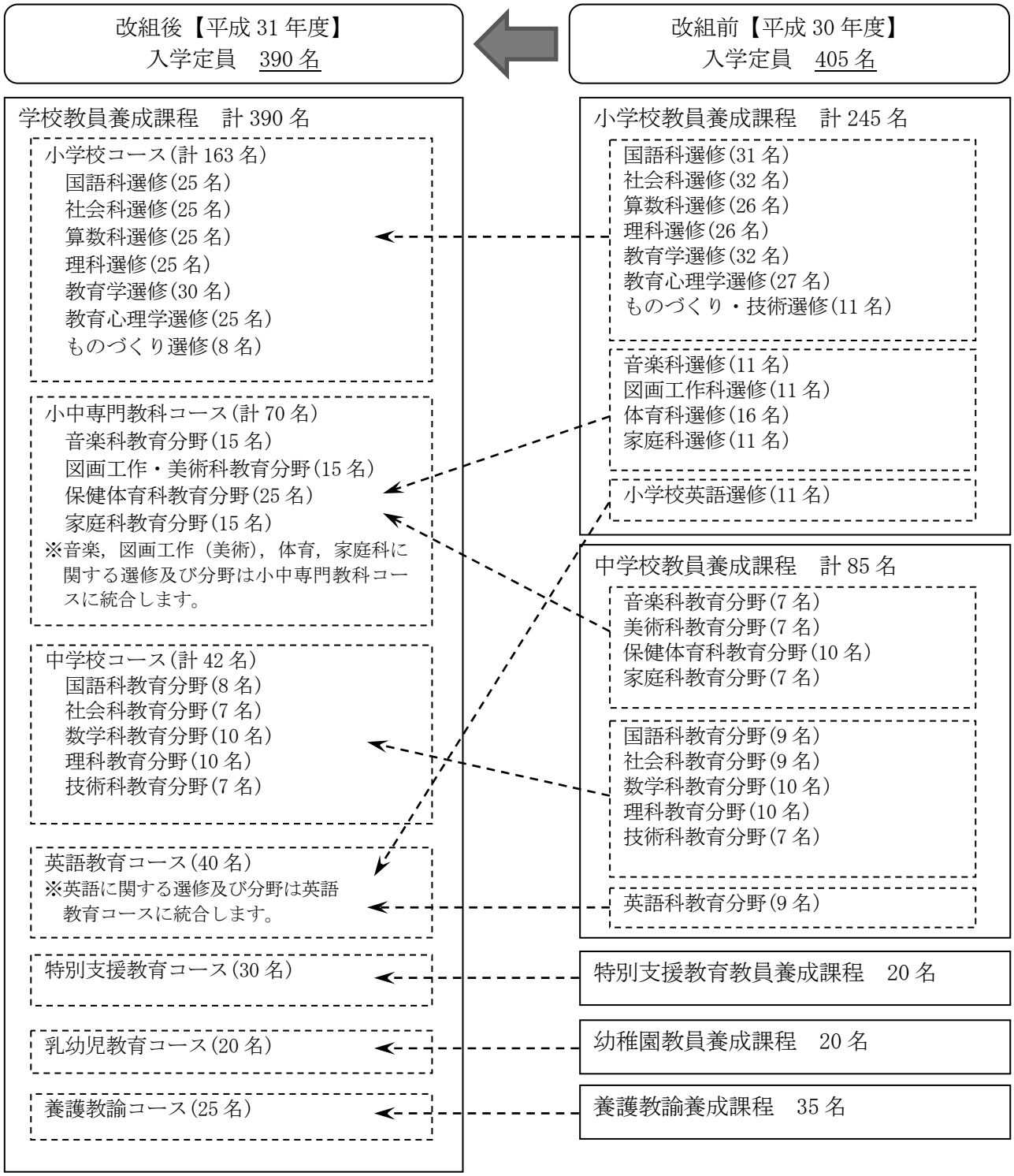
(3) 書類提出先・問い合わせ先

千葉大学教育学部学務室入試係　　〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１－33　電話　043－290－2515

８．教育学部における学部改組について

千葉大学では，平成31年度に教育学部の学部改組を行います。

ア．教育学部の学部改組の概略図



※（　）内の人数は，おおよその人数であり，志願状況により増減することがありえます。

イ．課程の再編成とコース制導入

教育学部は，従来の 5 課程を 1 つの課程に統合した上で，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校，幼稚園などの教員や養護教諭になるための教育に対応した 7 つのコースを設けます。

この変更では従来のカリキュラムを大幅に見直し，複数の教員免許状を取得しやすくするとともに，学校インターンシップの必修化，小学校における英語の教科化への対応，並びに現代的な教育課題の 1 つである特別支援に関する教育の充実などを盛り込み，4 年間で教員としての実践力を十分に高めることができます。

ウ．各コースの概要

① 小学校コース

このコースでは，幅広い教養，社会的常識，協調性，豊かな表現力を持ち，主体的に問題を解決することのできる実践力及び意欲の高い小学校教員を養成します。入学後は国語科選修，社会科選修，算数科選修，理科選修，教育学選修，教育心理学選修，ものづくり選修に分かれて学修し，一つの強みを持った小学校教員を目指します。

② 中学校コース

このコースでは，国語科教育分野，社会科教育分野，数学科教育分野，理科教育分野，技術科教育分野に分かれ，高い専門性を持った中学校教員を養成します。また，専門とする教科に関わる科目を学修し，その教科の中学校教諭 1 種免許状を取得するほかに，他教科の中学校教諭 2 種免許状を取得するなど，複数の中学校教科を受け持つことができる教員を養成することが特徴です。

③ 小中専門教科コース

このコースでは，小学校及び中学校で専門性が求められる教科である音楽，美術（図画工作），保健体育，家庭科に特化して，高い実技力や専門性を有する小学校及び中学校教員を養成します。このコースを卒業すると，小学校教諭免許と中学校教諭免許（所属する分野の教科）を併有して，いずれの学校教員にもなることが可能となります。

④ 英語教育コース

このコースでは，中学校教諭免許（英語）ならびに小学校教諭免許の両方を取得し，高い専門性と実践力を持った中学校英語教諭ならびに小学校英語教育を推進できる教員を養成します。さらに，比較的少人数の指導を行うなどにより，即戦力人材として英語教育・小学校英語教育・国際理解教育でリーダーとなれる教員を養成することが特徴です。卒業後は，小学校教諭免許と中学校教諭免許（英語）を併有して，いずれの学校教員にもなることが可能です。

⑤ 特別支援教育コース

このコースでは，特別支援学校（知的障害，肢体不自由，病弱）の教育を担える教員を養成します。また，社会が大きく変化する中，発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒が増えていることから，特別支援学校の教育だけでなく，小・中学校等の特別支援学級，通級指導教室も担えることを視野に入れた専門的知識，技能を身につけます。

⑥ 乳幼児教育コース

このコースでは，幼稚園教育に加えて，保育（乳幼児教育）に関する専門的な理論・知識及び高度な実践力を有する教員を養成します。入学後は，保育，幼児教育および小学校教育との円滑な接続を意識しつつ，新たな教育的課題に積極的に取り組む姿勢と問題解決能力を有し，生涯にわたる人格形成及び学校教育の基礎としての乳幼児教育の充実を図る教員を目指します。

⑦ 養護教諭コース

このコースでは，発育・発達段階に応じた児童・生徒の健康と成長を支援できる専門性の高い養護教諭を養成します。特に，養護教諭は児童生徒とのかかわりや教職員との連携が重要であることから，さまざまな活動や体験を通して，豊かな感性と柔軟なものの見方，コミュニケーション能力を身に付けた養護教諭を目指します。

エ．各コースで取得できる教員免許状

改組後の学校教員養成課程においては，次のとおり教員免許状が取得可能となるよう文部科学省に申請中です。文部科学省における審査の結果，予定している教職課程の開設時期が変更となる場合があります。

（平成31年2月頃に確定予定）

<table>
<tr><th>コース・分野等</th><th>卒業と同時に取得できる
教員免許状</th><th>所定の単位を修得することで
取得可能な教員免許状（※４・５）</th></tr>
<tr><td>小学校コース
国語科選修
社会科選修
算数科選修
理科選修
教育学選修
教育心理学選修
ものづくり選修</td><td>小学校教諭１種免許状</td><td rowspan="5">幼稚園教諭１種免許状・２種免許状

小学校教諭１種免許状・２種免許状

中学校教諭１種免許状・２種免許状
（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語）

高等学校教諭１種免許状
（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，家庭，工業，英語）

特別支援学校教諭１種免許状・２種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）

養護教諭１種免許状・２種免許状</td></tr>
<tr><td>中学校コース
国語科教育分野
社会科教育分野
数学科教育分野
理科教育分野
技術科教育分野</td><td>所属分野における教科の中学校教諭１種免許状
及び
所属以外の教科の中学校教諭２種免許状（保健を除く）又は特別支援学校教諭２種免許状（※２）</td></tr>
<tr><td>小中専門教科コース
音楽科教育分野
図画工作・美術科教育分野
保健体育科教育分野
家庭科教育分野</td><td rowspan="2">「A選択」，「B選択」のいずれか（※１）
・「A選択」
小学校教諭１種免許状と所属分野の教科の中学校教諭２種免許状
・「B選択」
小学校教諭２種免許状と所属分野の教科の中学校教諭１種免許状</td></tr>
<tr><td>英語教育コース</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>特別支援学校教諭１種免許状（※２）
及び
小学校教諭，中学校教諭（１教科）いずれかの１種免許状</td></tr>
<tr><td>乳幼児教育コース
（※３）</td><td>幼稚園教諭１種免許状
及び
小学校教諭２種免許状</td></tr>
<tr><td>養護教諭コース</td><td>養護教諭１種免許状</td></tr>
</table>

※１　小中専門教科コース及び英語教育コースに設けている「A選択」，「B選択」は，入学後に教員免許状を取得する履修要件を分けるための区分になります。これらのコースでは，卒業時に小学校教諭免許状及び所属する分野の教科の中学校教諭免許状の取得ができます。

なお，「A選択」「B選択」どちらに所属となった場合でも，希望をすれば４年間を通したカリキュラムで，いずれの校種免許でも１種免許状を取得できるように編成されています。(ただし，音楽科教育分野でA選択となった者が，中学校教諭１種免許状（音楽）の取得を希望する場合に限り，入学後に実技試験を行います。)

※２　特別支援学校教諭１種免許状・２種免許状は５領域のうち，３領域（知的障害，肢体不自由，病弱）の免許状になります。

※３　乳幼児教育コースの学生は，所定の単位の修得と児童福祉施設等での実習をすることで保育士資格も取得可能です。

※４　教員免許以外の取得可能な資格として，学芸員，図書館司書があります。

※５　改組前には取得可能であった，高等学校教諭１種免許状（書道，工芸）及び社会教育主事は，平成 31 年度（平成 31 年４月入学）以降の入学者は取得できなくなります。

オ．平成 31 年度入学者選抜（平成 31 年 4 月入学）における募集人員

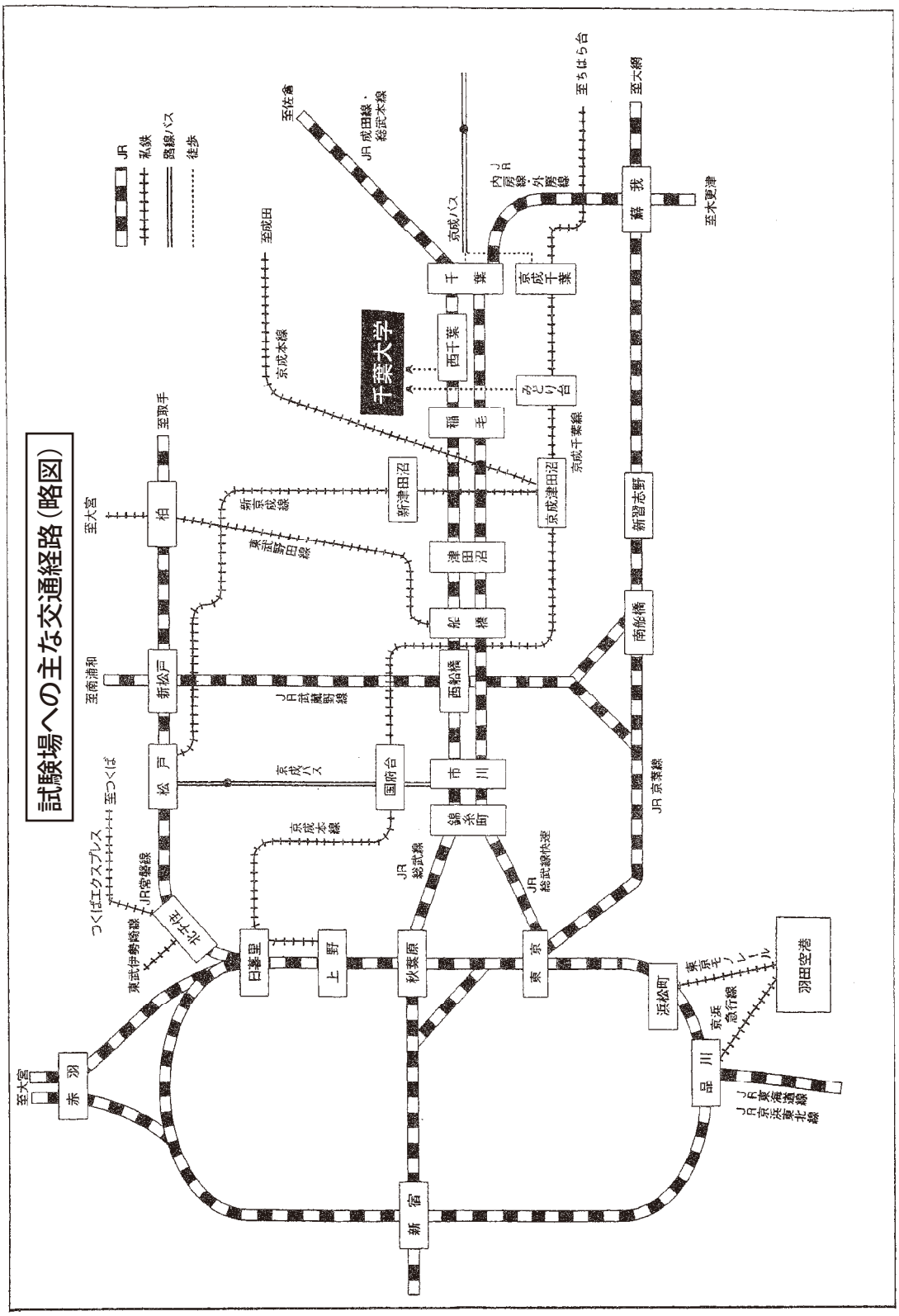
平成31年度入学者選抜における各コース等の募集人員は下表のとおりとなります。

改組確定後の 平成 31 年度入学者選抜における募集人員							現行（改組前）の 平成 30 年度入学者選抜における募集人員				
課程・コース・選修・分野等				一般入試前期日程	ＡＯ入試	推薦入試		課程・選修等		一般入試前期日程	ＡＯ入試	推薦入試
学校教員養成課程	小学校コース	国語科選修		(19)	6		←	小学校教員養成課程	国語科選修	(25)	6	
		社会科選修		(19)	6		←		社会科選修	(26)	6	
		算数科選修		(19)	6		←		算数科選修	(20)	6	
		理科選修		(19)	6		←		理科選修	(20)	6	
		教育学選修		(24)	6		←		教育学選修	(26)	6	
		教育心理学選修		(19)	6		←		教育心理学選修	(21)	6	
		ものづくり選修		(5)	3		←		ものづくり・技術選修	(8)	3	
	中学校コース	国語科教育分野		(6)		2	←	中学校教員養成課程	国語科教育分野	(7)		2
		社会科教育分野		(5)		2	←		社会科教育分野	(7)		2
		数学科教育分野		(8)		2	←		数学科教育分野	(8)		2
		理科教育分野		(8)		2	←		理科教育分野	(8)		2
		技術科教育分野		(5)		2	←		技術科教育分野	(5)		2
	小中専門教科コース	音楽科教育分野	Ａ選択	(8)	2		←	小学校教員養成課程 音楽科選修		(9)	2	
			Ｂ選択	(3)		2	←	中学校教員養成課程 音楽科教育分野		(5)		2
		図画工作・美術科教育分野	Ａ選択	(8)	2		←	小学校教員養成課程 図画工作科選修		(9)	2	
			Ｂ選択	(3)		2	←	中学校教員養成課程 美術科教育分野		(5)		2
		保健体育科教育分野	Ａ選択	(13)	3		←	小学校教員養成課程 体育科選修		(13)	3	
			Ｂ選択	(7)		2	←	中学校教員養成課程 保健体育科教育分野		(8)		2
		家庭科教育分野	Ａ選択	(8)	2		←	小学校教員養成課程 家庭科選修		(9)	2	
			Ｂ選択	(3)		2	←	中学校教員養成課程 家庭科教育分野		(5)		2
	英語教育コース		Ａ選択	(18)	7		←	小学校教員養成課程 小学校英語選修		(9)	2	
			Ｂ選択	(12)		3	←	中学校教員養成課程 英語科教育分野		(7)		2
	特別支援教育コース			(23)		7	←	特別支援教育教員養成課程		15		5
	乳幼児教育コース			(15)		5	←	幼稚園教員養成課程		15		5
	養護教諭コース			(20)		5	←	養護教諭養成課程		25		10
計				297	55	38		計		315	50	40
				390						405		

※１　募集人員で（　）書きになっている欄は，おおよその人数であり，志願状況により増減することがあります。

※２　小中専門教科コース及び英語教育コースに設けている「Ａ選択」，「Ｂ選択」は，入学後に教員免許状を取得する履修要件を分けるための区分になります。平成 31 年度入学者選抜においては，出願時に「Ａ選択」，「Ｂ選択」を選択して出願してください。（「Ａ選択」，「Ｂ選択」の履修要件上の違いについては，「エ．各コースで取得できる教員免許状」を参照してください。）

試験場への主な交通経路（略図）



（注）略図中の「西千葉」には，「特急，快速」は停車しないので注意のこと。

受験番号	※

※印の欄は記入しないこと。

平成31年度　千葉大学志願票（推薦入試用）

出願資格	高等学校等卒業又は修了（見込）者				
	出身学校名	所在地	課程	学科	卒業又は修了（見込）年月
	高等学校・学校	都・道・府・県	全日制 定時制 通信制	科	平成 年　月
	注）高等学校コード				

注）高等学校コードは，大学入試センター試験受験案内のコード表を参考にしてください。

検定料振込証明書

貼　付　欄

検定料振込後に銀行等から受領した**「貼付用（大学提出用）」（出納印が押印済のもの）**を，はがれないようにしっかりとこの欄にのり付すること。

受信場所					
	本人	ふりがな			
		氏　名			
		生年月日	平成　年　月　日	性　別	男　・　女
		〒 E-mail（　） 電話　（　） 携帯　（　）			
	保護者	氏　名			
		※本人と同じ場合は「同上」と記入 〒 電話　（　）			

志願種別	教育学部 学校教員養成課程

コース名	コース

分野名	教育分野

注）中学校コース及び小中専門教科コースのみ記入すること。

切りはなさないこと

平成31年度　千葉大学受験票（推薦入試）

受験番号	※	写真貼付欄
学　部 課　程	教育学部 学校教員養成課程	
コース	コース	
分　野	教育分野	
ふりがな		
氏　名		

注意事項
1. 分野は中学校コース及び小中専門教科コースのみ記入すること。
2. 試験開始30分前に本票を持参し，検査室前に集合すること。
3. 本票は試験期間中常に携帯し，受験中は机上の受験番号札の手前におくこと。
4. ※印の欄は記入しないこと。

切りはなさないこと

平成31年度　写真票（推薦入試）

受験番号	※
ふりがな	
氏　名	

写真貼付欄	時　限	出　欠※
	1	
	2	

※印の欄は記入しないこと。

志 望 理 由 書

氏　　名		受 験 番 号	※

※印の欄は記入しないこと。

活 動 履 歴 書

これまでの諸活動について，その内容とそこから学んだことを記載してください。(本要項５～６ページ参照)

氏　　名		受 験 番 号	※

※印の欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

平成　30　年　　月　　日

千葉大学教育学部長　小宮山　伴与志　　殿

立　　高等学校
　　高等専門学校

学校長氏名　　印

下記のとおり責任をもって推薦致します。

記

１．生徒氏名

２．特に推薦する理由

注意：別紙「記入上の注意」を参照してください。

学業	
人物	
特記事項	

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

Ⅰ　特に推薦する理由

推薦する理由についての記入は，学業，人物を含めて推薦する根拠となっている特別な事情を記入してください。

Ⅱ　学　　業

１．３か年にわたる各学年ごとの学年全体での成績順位（何人中何位）及びクラスでの成績順位（何人中何位）を記入してください。

もし，順位が出ていない場合は，推定の順位を記入してください。

２．授業中の活動状況，勉学の自発性，計画性，持続性あるいは理解力，創造的思考能力等について，なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

３．得意な科目，不得意な科目，好きな科目，嫌いな科目等について記入してください。

Ⅲ　人　　物

調査書の「行動及び性格の記録」欄だけでは記入できない具体的事項（人物，性格について本人の特性をよく表現するような事実，課外活動状況等）を記入してください。

Ⅳ　特記事項

１．本人の趣味，特技，生活態度について記入してください。

２．本人の健康状態について，特記事項を記入してください。

Ⅴ　黒又は青ボールペンを使用して記入するか，ＷＯＲＤ等で作成して印字した用紙を貼付してください。

平成30年　　月　　日

千葉大学教育学部長

小宮山　伴与志　　殿

送　り　状

学校名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記

下記の生徒を本校より推薦しますので関係書類を送付いたします。

生徒氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	提　出　書　類　等	チェック欄
1	志願票・写真票・受験票	
2	調　査　書	
3	推　薦　書	
4	志望理由書及び活動履歴書	
5	受験票送付用封筒	
6	宛名シール	

案　内　図

◎試験当日は，自動車・バイク・自転車等による入構はできません。また，付添者は入構できません。
◎試験当日，最寄りの駅から試験場周辺にかけて合否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがありますが，これらの行為は本学とは一切関係ありませんので，不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう十分注意してください。そのような事故が生じても本学は一切責任を負いません。

